

# 炎症性腸疾患外来

● 炎症性腸疾患って…どんな病気か知っていますか？

炎症性腸疾患とは、主として腸に原因不明の慢性的な炎症を起こす病気のこと、主に潰瘍性大腸炎とクローン病のことを指します。

● どのような症状があらわれますか？

下痢や血便が続いたり、良くなったり悪くなったりを繰り返します。症状がひどくなると、腹痛、発熱、体重減少などの症状がでてきます。放置すると、手術が必要になったり、悪化する危険性もあります



● どのような検査をしますか？

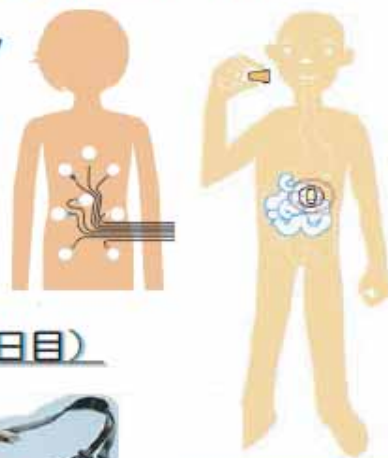
当院では、**小腸カプセル内視鏡検査**を行っております。超小型カメラを内蔵した長さ26mm、直径11mmのカプセル内視鏡を適量の水で口から飲み込むだけです。簡単で痛くない検査法です。



## 当院での小腸用カプセル内視鏡検査の流れ

**1 外来受診（1日目）**  
検査前に消化管の開通性を評価するための崩壊性カプセル（PillCam® パテンシーカプセル）を内服し、消化管（小腸）開通性を判定する

**2 小腸用カプセル内視鏡検査実施（2日目）**  
センター1階の内視鏡センターにて、検査開始  
・センサーアレイを装着  
・カプセル内服  
・内服後の説明（約30分程度）



**3 センサーアレイ返却（3日目）**



医師によって、専用ワークステーションを用いて解析され、疾患の場所や状態を調べます。

**4 外来受診（4日目）**  
検査結果説明



今まで、多数の検査を実施してきましたが、はじめはカプセルの大きさにびっくりされますが、皆さん意外とスルリと内服されています！



メリット1 外来で検査が可能！ 検査中は、会社やご家庭に戻ることも可能である(医師の判断による)

メリット2 大腸内視鏡検査のような、前処置が不要！

メリット3 カプセルをゴクン！と飲むだけで検査が可能！



当院では炎症性腸疾患の専門外来を開設しています。お腹の調子が悪くて気になる方、潰瘍性大腸炎、クローン病と診断されているけど、専門外来を受診したい方、ぜひ、専門外来にお越しください。